

プレスリリース

2015年11月24日

世界中のイケアストアで 難民キャンプに明かりを届けるための寄付を募ります

難民支援として数百万ユーロの支援金を募るために、イケアの「難民キャンプに明かりを届けよう」キャンペーンが、今年も40カ国以上で開催されます。11月29日～12月19日まで、イケアストアですべての照明製品を1つお買い上げいただくごとに1ユーロをIKEA Foundationが国連の難民支援機関であるUNHCRに寄付します。この寄付金は、UNHCRが難民キャンプに明かりと再生エネルギーを届け、そこで多くの家族がより安全に、より快適に暮らせるための活動を支援します。このキャンペーンにより、これまで計1850万ユーロが難民キャンプに寄付されました。

キャンペーンで集まった寄付金は、アジアやアフリカ、中東でUNHCRが運営する難民キャンプに、太陽電池式の街灯やソーラーランタン、太陽電池式エネルギーシステムを提供し、難民および受け入れコミュニティにおけるエネルギーの自立を支援するために使われます。さらに、本キャンペーンは初等教育へのアクセスの改善にも資金を提供します。

現在、世界中におよそ1950万人の難民が避難を強いられ、そのおよそ半分を子どもが占めています。人々を国の外へと押しやる主な原因は紛争と迫害ですが、UNHCRは次第にほかの要因にも注目するようになってきました。それは、気候変動と、気候変動に関連して人々の移住を引き起こす干ばつや洪水、天然資源の枯渇などの天災です。



イケアの「難民キャンプに明かりを届けよう」キャンペーンは2014年度に開始され、今年が最後の年となります。以下にこれまでの成果の一部を挙げます。

- エチオピアとヨルダンの28万4000人を超える難民と受け入れコミュニティの人々は、5万6000個以上のソーラーランタンの提供と720本以上の太陽電池式街灯の設置のおかげで、以前よりも夜間に安全に暮らせるようになりました。
- バングラデシュとチャド、エチオピアでは、3万7000人以上の子どもたちが小学校へ入学し、学習を継続できるようになりました。さらに、これらの国では740名以上の教師に対してトレーニングが行われました。

- バングラデシュでは、22 のバイオガスプラントが建設され、し尿の 15%を処理して、調理用のグリーン燃料を生成しています。

「世界中で否応なく住む場所を追われた人々は、現在何千万人にも上り、UNHCR の取り組みの世界的な状況はこれまでになく困難なものになっています。難民支援の革新的な道を見つけることが非常に重要です。IKEA Foundation のサポートにより提供が可能となったクリーンエネルギーは、基本的なニーズに応える実用的なソリューションであると同時に、多くの人々のクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）を変える力を持つものです」（アントニオ・グテーレス、国連難民高等弁務官）

UNHCRの最大の民間セクターパートナーであるIKEA Foundationは、すべての子どもに家と呼べる安全な場所を持つ権利があると信じています。2010年からUNHCRのパートナーとして、アジアやアフリカ、中東において、難民キャンプとその周辺コミュニティーで暮らす家族と子どもたちにシェルター（仮設住居）や、さまざまなケア、教育を提供するための支援を行っています。

「残念なことに、世界中の紛争状況の長期化による難民危機の高まりは、すぐに落ち着きそうにはありません。気候変動が誘発する自然災害などのあまり知られていない要因が、さらに多くの人々を住まいから追いやり、家と呼べる安全な場所を求める難民に至らしめる原因となることもあるのです」（パール・ヘッグネス、IKEA Foundation CEO）

このパートナーシップキャンペーンについて詳しくは、下記までお問い合わせください。

<p>IKEA Foundation Radu Dumitraşcu コミュニケーション&メディアリレーション・マネジャー Tel: +31 6 556 98 570 E-mail: radu.dumitrascu@ikeafoundation.org</p>	<p>UNHCR 駐日事務所 守屋 由紀 広報官 Tel: 03-3499-2042 E-mail: moriya@unhcr.org</p>	<p>イケア・ジャパン PRチーム Email: ikeajapanpr@IKEA.com</p>
---	--	--

UNHCR について

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR : United Nations High Commissioner for Refugees）は国連総会決議によって 1950 年 12 月 14 日に設立されました。UNHCR は人道的見地から紛争や迫害によって故郷を追われた世界の難民の保護と難民問題の解決へ向けた国際的な活動を先導、調整する任務を負っています。難民の権利と尊厳を守り、すべての人が庇護を求める権利を行使し、安全に庇護を受け、延いては自発的に帰還、あるいは庇護国に定住、または第三国に定住できるために努力します。設立以来この 60 年以上にわたり、数千万人以上の生活の再建を支援しています。現在は約 9,300 人の職員が世界約 127 か国で 5000 万人以上の人々の支援に従事しています。詳しくは、www.unhcr.or.jp または www.facebook.com/unhcrorjp をご覧ください。

IKEA FOUNDATION について

IKEA Foundation (Stichting IKEA Foundation) は、イケアグループを所有する INGKA Foundation の慈善部門として、世界中のもっとも貧しいコミュニティで暮らす子どもと若者の機会の向上を目的として、根本的かつ持続的な変化をもたらすことができる、包括的で長期的なプログラムに資金提供を行っています。IKEA Foundation は、力強く戦略的なパートナーとともに、子どもの生活の基本となる 4 つの分野（家と呼べる場所、健康な人生のスタート、質のよい教育、継続的な家族の収入）において大きな成果を達成するために、革新的なアプローチに力を注いでいます。詳しくは、www.ikeafoundation.org および www.facebook.com/IKEAfoundation をご覧ください。

イケアグループについて

イケアのビジョンは「より快適な毎日を、より多くの方々に」お届けすること。このビジョンを支えるのが、イケアのビジネス理念である「優れたデザインと機能性を兼ね備えたホームファニッシング製品を幅広く取りそろえ、より多くの方々にご購入いただけるようできる限り手ごろな価格でご提供する」ことです。イケアグループは現在、世界 28 カ国に 329 のイケアストアを展開しています。このほかに、フランチャイズ加盟者が運営するイケアストアが 40 店舗あります。2015 事業年度のイケアストアへの来店者数は 7 億 1600 万人、イケアのウェブサイトの訪問者数は 15 億人でした。www.IKEA.com